



支部だより

霞

2022年5月 第58号

東洋大学浦水会(保護者会)埼玉県南支部

支部長 岡安直美

支部長挨拶

岡安 直美 (国際観光学部 保護者)



新入生の保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。また、会員の皆様には日頃より浦水会の活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。コロナ禍の影響で、ここ2年は大学へ通学する事も叶わず、家でのリモート授業が続きました。少しずつではありますが、通常授業の再開や部活動・サークル活動の後押しなどを大学が進めてくださっております。学生の皆様には一日でも早く日常が戻り、大学生活を謳歌して欲しいと心より願っております。さて、浦水会は大学と協力して「学生の心身の健全な発達を図る事」を目的にした保護者の会です。埼玉県南支部は全国56支部の中で約2800名からなる最大の支部です。年2回発行する「霞」とあわせて、各種行事をご案内いたします。コロナ禍の為、オンラインを使用した行事も計画しております。是非、行事に参加いただき会員の皆様の交流と情報交換の場としてご活用いただけましたら幸いです。

健康増進セミナー (2022年2月13日開催)



(講師の伴先生)

大竹 基之 (文学部 保護者)

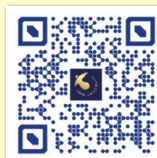
2月13日に伴先生の健康増進セミナーがオンラインで行われました。今まで何度か参加させていただいた「就職講演会」は、先生のお話を聞く形で、「体験する」ということはなかったの、どんな内容になるのかと期待していました。ヨガ体験ということで、人前でのストレッチすら恥ずかしいほど体の硬い私は、ヨガとは似ても似つかないような格好になるのではないかと不安もありましたが、コロナ禍での運動不足解消もかねて、体を動かすきっかけになればと思い切って参加することにしました。実は家内が以前からヨガ教室に通っていて、話によれば参加者はほとんど女性ばかり、教室で男性が参加するのはかなり勇気がいるなあ、と思っていましたが、今回

はオンラインでしたので、気恥ずかしさも余り感じずに、マイペースで参加出来たように思います。講師の伴先生のご指導もあり、前半は体力的にきついということもなく非常にリラックスしていましたが、後半には気が付けば少し汗ばむくらい、体がポカポカと温まってきました。本格的なヨガほどハードルが高くなく、日々続けられそうですし、生活の中で気を付けることで健康でいられるような内容でスゴく勉強になりました。もともと硬かった体が、一層硬くなっていることに、少し愕然としながら、教えていただいたことを思い出し、繰り返し取り組んでみたいと思います。やはり、日々身体を動かすことが大事なんだと改めて感じました。セミナーの後は懇親会が行われましたが、参加者の皆さんからも良い機会になったという言葉聞いて、運動不足は僕だけではなかったと分かり、少し安心しました。2022年はコロナも終息し、対面でのイベントが行えると良いですね。



浦水会埼玉県南支部役員募集のお知らせ

1・2年生の保護者の方でご協力頂ける方を募集しております。
役員会は年に10回程度、週末に1～2時間浦和周辺で行っております。
来られるときだけで問題ありません。最近はZoomも併用して開催しております。
保護者同士で横のつながりが出来る良い機会です。
ご興味がありましたら saitama_south@toyo-hosui.jp 迄ご連絡下さい。



浦水会HP
QRコード

第98回箱根駅伝事前予想(2021年12月26日開催)

野村 祥弘(ライフデザイン学部 保護者)



(ゲストの松本翔さん)

2021年12月26日、「第98回箱根駅伝事前解説」に参加しました。

私自身以前から箱根駅伝には非常に興味があり、過去、藤沢市に住んでいた頃は平塚中継所や国道134号線沿いでの応援、近々では第94回の京橋での10区の応援、第93回、第96回の読売新聞社前でのスタート等、数々の場面で現地で観てきました。

今大会も前回同様コロナ感染拡大防止の観点から、現地での応援が自粛となつてしまい、非常に残念だと思っていたところ、今回の企画を見つけ、すぐに申し込みを行いました。「箱根駅伝について」や「コース紹介」のテーマにおいては、実はあまり期待していなかったのですが、「箱根駅伝について」では私の知らなかったルーツや出来事、「コース紹介」ではその区間ごとのポイントが紹介され、非常に興味深く聴くことが出来ました。

「過去の箱根駅伝を振り返る」では東洋大、山の神時代等のいわゆるピーク時が思い出され、「今秋の駅伝成績」では今大会に挑む東洋大の立ち位置が把握出来ました。

その後「東洋大学登録選手紹介」、「注目選手紹介」と進み、特に「注目選手紹介」での「イケメン選手の紹介」はこういう大会展望では紹介されることはないのですごく驚きましたし、斬新な企画だと思いました。

「今大会の展望」では東洋大のライバル校が分かりました。そして今企画で凄く驚いたのはこの後の「元箱根ランナーによる経験談及び今大会の展望」での実際に箱根を走った方の生の声でした。やはりその話の一言一言に説得力がありましたね。

全てのテーマが凄く充実した内容であったため、あっという間の時間でした。そして箱根駅伝当日、この企画で得た情報により大変楽しく、テレビ応援をすることが出来ました。

是非、次大会では現地で大きな声を張り上げて応援出来ることを祈っております。

第98回箱根駅伝テレビ応援観戦記(往路)

山本 和子(理工学部 保護者)

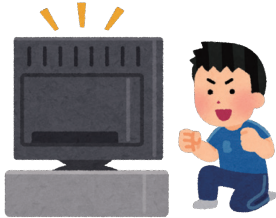
息子が東洋大学に入学し初めての箱根駅伝。昨年末に開催された駅伝事前解説に参加し、準備万端でテレビの前にスタンバイしました。8時の号砲とともに一斉にスタート。5キロ過ぎ、中央大学の吉居君が飛び出し区間新。花の2区で、各校のエース直接対決を制したのは駒澤大学の田澤君。選手たちの力走を応援しながらも、鉄紺の意味や厚底シューズやユニフォームの柄について調べたり、「しっかり寝られたのかな?朝は普通に食事したのかな?足大丈夫かな?」と親心が沸いてしまいました。いい走りでも復路につなげて、ぜひシード権を…興奮冷めやらぬ状態で往路が終了。東洋大学陸上競技部のみなさん、たくさんの感動をありがとうございました。



第98回箱根駅伝テレビ応援観戦記(復路)

青木 義信(生命科学部 保護者)

正月恒例、田舎の両親等への挨拶を早めに終わりにして帰宅。子供とテレビ応援開始。第6区九嶋選手9位からスタート。箱根町～小田原間は下りで難しい中、第7区梅崎選手につなぐ。ルーキーながら二人抜き区間8位、第8区蝦夷森選手につなぐ。さすが4年生、区間4位の快走で、総合6位に上げて第9区前田選手に優しく渡す。区間記録5位の走り、第10区清野選手に最後を託す。清野選手の御祖父様は元旦に亡くなられたとのこと。「死んだおじいちゃんのため」「その1秒をけずりだせ」を両腕に描き、区間記録2位の走りでも4位ゴール。清野選手の御祖父様も喜んでいらっしゃるのでしょうか。総合成績も第4位のシード権獲得。次は、王者青学と東洋(鉄紺)との熱い対決に期待大です。



2022年も東洋大学卒業生が活躍しています

- 大相撲では東洋大学相撲部出身力士が大活躍しています。御嶽海関(出羽海部屋)が令和四年一月場所幕内優勝、若隆景関(荒汐部屋)が令和四年三月場所幕内優勝
- 冬季北京オリンピックではスキアルペン大回転・回転に安藤麻選手(法2019卒)が出場

今後の予定

2022年 7月 3日 支部総会、懇親会 ロイヤルパインズホテル浦和
2022年 7月 3日 就職講演会 ロイヤルパインズホテル浦和及び Zoom
2022年 11月 霞59号発行